

6.8.9 エネルギー

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.9-1 に示すとおりである。

なお、工事中の建設機械の稼働に伴う温室効果ガスの排出量は、「6.7.1 東京 2020 大会に係る実施段階環境アセスメント及びフォローアップの全対象事業についての実施段階環境アセスメント及びフォローアップの実施経過」(p.38 参照)に示したとおり、施設の持続的稼働に伴う温室効果ガス排出量に比べて排出期間、量ともに少ないことから、建設機械の稼働に伴うエネルギーの使用量については、フォローアップ調査の対象から除外した。

表 6.8.9-1 調査事項

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの掲示等を行い、不必要なアイドリングの防止を徹底する。 ・建設機械は、極力、燃費性能の高い建設機械を使用する等の配慮を行う計画である。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.9-2 に示すとおりである。

表 6.8.9-2 調査手法

調査時点※		工事中 (2018 年 1 月～2019 年 12 月) とした。
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とし、2018 年 1 月～2019 年 12 月末とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査 (写真撮影等) 及び関連資料 (建設作業日報等) の整理による方法とした。

※ミティゲーションの実施状況は、「大会開催前その 1」(平成 30 年 4 月公表) の報告後の 2018 年 1 月から 2019 年 12 月末までの期間とした。

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.9-3 に示すとおりである。

なお、エネルギーに関する問合せは工事終了までになかった。

表 6.8.9-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの掲示等を行い、不必要なアイドリングの防止を徹底する。 	<p>定例会議（写真6.8.9-1）や朝礼（写真6.8.9-2）等を通じてアイドリングストップの厳守等、関係業者及び運転者へ指導を行うとともに、アイドリングストップ厳守に関わる掲示（写真6.8.9-3）を行い、周知・徹底を図った。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・建設機械は、極力、温室効果ガス排出量が少ない建設機械を使用する等の配慮を行う計画である。 	<p>建設機械については、NETIS（新技術情報提供システム）に登録された燃料消費量の低減に配慮した建設機械（写真6.8.9-4）等を使用した。</p>



写真 6.8.9-1 定例会議



写真 6.8.9-2 朝礼



写真 6.8.9-3 アイドリングストップの掲示



写真 6.8.9-4 NETIS 登録建設機械